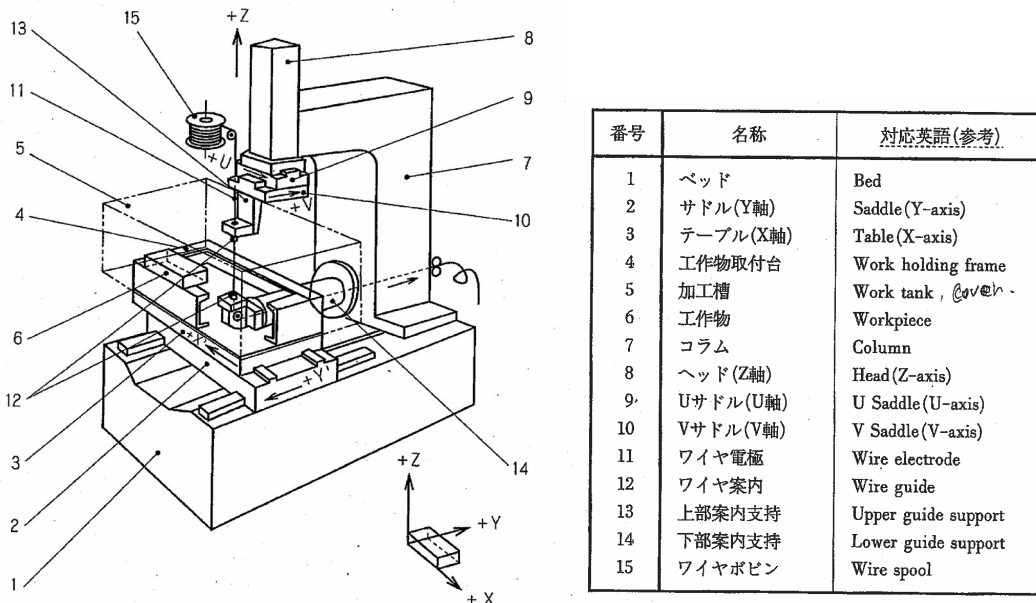


ワイヤカット放電加工機は、黄銅、銅、タングステン、モリブデンなどの細いワイヤを巻き取りながら、これを電極としてワークを加工する加工機である。

図1にワイヤカット放電加工機の外形図を示す。ワイヤカットの主な用途としては、一般の抜き型、精密抜き型、順送り型などの製造にいたるまで活用されている。主な特徴として加工液に水を用いているため火災の心配がないこと、導電性の材料であればワークの硬度に関係なく加工できることなどである。

図1 ワイヤ放電加工機の外形図



(2) 形態

使用される形態は、単体機として使用される。

3. 2 リスクアセスメントの実施時期

詳細設計時(設計の最終図面チェック時)にリスクアセスメントを実施している。

3. 3 対象設備のリスクアセスメント

(1) 具体的なリスクアセスメント実施手順

(2. 2 に紹介した手順に沿って実施しているが、実施記録は提供いただけなかった。)

(2) リスクの再評価の内容

(資料を提供いただけなかった。)

(3) 実施に当たって問題となった点およびその解決策

国内向けでは通常ガードがついていないが、ユーザーの要望に基づき安全ガードを設置したことで操作性・視認性が悪くなったケースがあった。



扉の開口部を広げることで操作性を改善し、(L字型に変更：写真1参照)扉に透明部